

乗務員教育記録簿用紙

西北交通株式会社

乗務員への指導・監督の記録

実施月日	令和 5 年 6 月 20 日
時 間	10 時 00 分 ~ 12 時 00 分
場 所	北上本店 営業所

検印  
非公開

営業所名 北上本店営業所 北上さくら営業所 矢巾営業所

【一般的な指導事項】

- ①事業用自動車を運転する心構え
- ②事業用自動車の運行の安全及び旅客の安全を確保するために遵守すべき基本的事項
- ③事業用自動車の構造上の特性
- ④乗車中（運行中）の旅客の安全を確保（シートベルトの着用等）するために留意すべき事項
- ⑤旅客が乗降するときの安全を確保するために留意すべき事項
- ⑥主として運行する経路若しくは、経路又は営業区域における道路及び交通の状況
- ⑦危険の予測及び回避並びに緊急時における対応方法
- ⑧運転者の運転適性に応じた安全運転の指導
- ⑨交通事故に関わる運転者の生理的（睡眠不足等）及び心理的要因並びにこれらへの対処方法
- ⑩健康管理の重要性
- ⑪安全性の向上を図るための装置を備える事業用自動車の適切な運転方法
- ⑫ヒヤリハット体験の報告や運転にかかる苦情の申し出、又は事故が発生した場合には当該運転者に対してドライブレコーダーにより必要な指導を行う
- ⑬⑫のドライブレコーダーの記録を活用したヒヤリハット体験を共有する
- ⑭非常信号用具、非常口、消火器の取り扱いの指導

指 導

※ 事業用自動車（バス）の構造上の特性

1 車高

- ①運転席の高さからくる前方視界 ②重心が高く不安定 ③看板などへ接触

2 車長

- ①内輪差が大きい ②オーバーハングに注意 ③看板などへ接触

3 死角

- ①左側方の死角 ②前方の死角 ③後方の死角

4 スピード

- ①制動距離が長くなる ②横転の危険が高まる ③衝撃力が大きくなる

※貸切バスにおける安全確保の徹底について

5月16日(火)午後8時15分頃、宮城県栗原市の東北自動車道下り線において、岩手県一関市に向けて乗客乗員40名程度を乗せた貸切バスが車両故障のため路肩に停車していたところ、大型トラックが追突し、3名が死亡、1名が重傷を負うという誠に痛ましい事故が発生した。事業用自動車の輸送の安全確保は、自動車運送事業者の最大の使命であり、事故を起こさず、国民の生命、身体及び財産をしっかりと守ることこそが、運送事業の社会的信頼を維持するために最も必要なことである。

緊急時における適切な対応について運転者への指導を徹底すること。特に交通事故・車両故障発生時においては、次に掲げる事項について改めて実施を徹底すること。

- ①高速道路上においては停止表示器材を設置し、他の自動車に事故の発生を知らせる等、道路における危険防止措置を実施すること。

- ②状況に応じ、乗客を車両から退避させ、万が一停止車両への追突事故が発生した際に乗客が巻き込まれないようにする等、乗客の安全の確保に係る措置を実施すること。

裏面へ

指導・教育の内容	※ 事業用自動車による交通事故の統計を活用した安全指導
	※ 6月の重点管理（降雨時の安全運転の基本を指導する）
	※ 車両火災の予防運動
	● 濡れた路面の危険を理解させる 降雨により路面が濡れると、停止距離が延びるため追突などの危険が高まる。車間距離の確保と安全速度での運転を指導する。
	● 視界の悪化がもたらす危険を周知する 雨により視界が悪化すると、周辺の状況を把握しづらくなり、危険の発見が遅れる。晴天時より慎重な運転を徹底させる。
	● 災害時の安全運転 豪雨や地震など、災害が発生はした際に運転者に適切な指示が出せるように、連絡体制を整備しておく。

